

垂直避難

屋外への移動が危険で、浸水による建物倒壊の危険がないと判断される場合には、自宅や近接建物の2階以上（津波の場合は3階以上）へ緊急的に一時避難し、救助を待つことも検討してください。

例えば

- ▷ 夜間や急激な降雨で道路状況が分かりにくい
- ▷ ひざ上まで浸水している（50cm以上）
- ▷ 浸水は20cm程度だが、水の流れる速度が速い
- ▷ 浸水は10cm程度だが、用水路などの位置が不明で転落の恐れがある



2階などへ避難しても、ラジオやメールなどで、情報収集はしておきましょう。



気象状況によっては、水平避難が危険な場合もあります。自宅の安全な場所で待機しましょう。



垂直避難

避難をする二下容子さん、2種類の避難方法とは。

避難の方法はお住まいの環境や、気象状況によって違います！

家が谷筋にあったり急な斜面を抱えている場合で、まだ小雨程度であれば、避難所への避難（水平避難）が有効です。一方、山を抱えておらず、既に雨により視界が確保できないような状況であれば、必ずしも避難所へ避難する必要はありません。自宅の2階など浸水から身を守る場所へ移動（垂直避難）することで命を守れます。

※登場人物は、架空の人物です。



5 安全確認をしながら、近くの避難所へ避難しましょう。



4 貴重品や飲み物、少しの食べ物などを持っていきましょう。日ごろから準備しておくことも大切です。

水平避難



注意

危険な状況の中での避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えます。危険が切迫している場合は、指定された避難場所への移動（水平避難）だけでなく、命を守る最低限の行動が必要な場合もあります。

特集

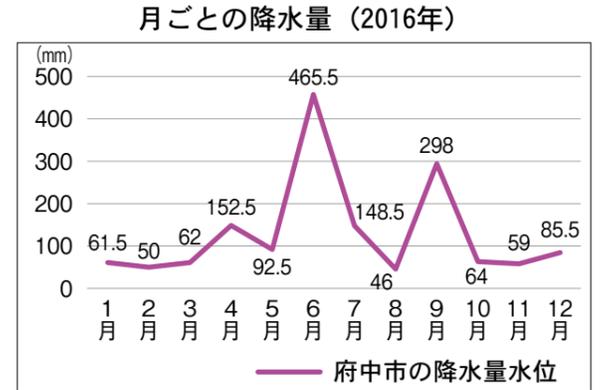
避難＝命を守る行動

梅雨が近づき、雨の降り続く日が多い季節になります。

2016年の府中市年間降水量は1,585mmと、過去10年で比較すると最多降水量を記録しました。大雨警報は年間12回、洪水警報は9回と2015年の大雨警報3回、洪水警報3回、暴風警報1回に比べ警報回数は3倍に増えています。

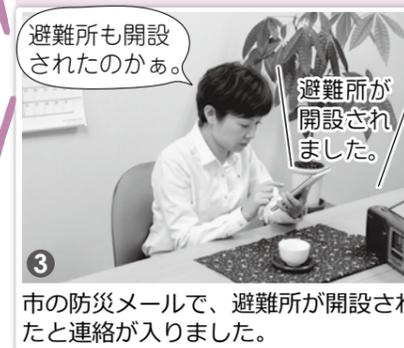
府中市の降水量は年々増加し、短時間で大量の雨が降ることもありました。今や府中市も、広島市の土砂災害や鬼怒川の洪水のような災害が、対岸の火事だと思っ

ては危険です。災害はいつ起こるか分かりません。いざという時、避難先を自分で判断することが重要です。

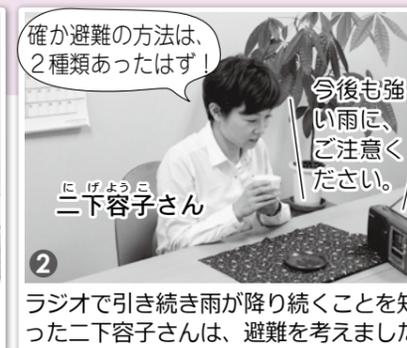


問い合わせ先 総務課（☎43-7211）

梅雨に入ったある日の二下容子さんのお話



3 市の防災メールで、避難所が開設されたことと連絡が入りました。

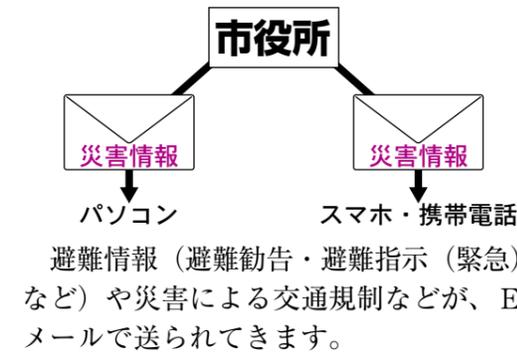


2 ラジオで引き続き雨が降り続くことを知った二下容さんは、避難を考えました。



1 梅雨特有の長い雨が降り続いていました。

府中市防災メールに登録しよう



登録用アドレス

fuchu@xpressmail.jp

登録方法

- ① 登録用のアドレスまたはQRコードから、件名・本文を入力せずメールを送信。
- ② 希望する情報を選択。
- ③ 登録完了の表示が出れば、完了。

市役所総務課担当者に聞く、避難所Q&A



- Q. 広谷町に住んでいます。中須町の避難所の方が近いのですがそこに避難してはいけないのですか？
- A. 避難されて構いません。さまざまな状況を考慮し、住んでいる町以外の避難所に避難することもできます。ただし、災害の種類によって対応していない避難所があるので、あらかじめ確認しておきましょう。
- Q. 避難所に避難したいけど、近くの避難所は開いているの？
- A. 開いていない場合があります。避難所は規模の大きい体育館などをはじめに開設します。開設されている避難所は、市のホームページや防災メールなどで確認できます。また、開設されていない避難所に避難する時は、避難を始める前に市役所に連絡をしてください。